

(1) 前回(第2回)勉強会について (2) 市有地の導入機能・施設について

## 市有地利活用のキーワード

### 住む人に魅力あるまち 市民の利便性向上

《委員からの主な意見》

- ・市街地との連携の強化
- ・周辺住民のことを考えたまち(ふれあい、避難所的なもの)
- ・市民の利便性(郵便局、保健所など)
- ・駅前からつづく市民サービス施設
- ・子育て支援(児童館など)
- ・就労支援
- ・ふらっと立ち寄れる施設
- ・機能面重視(観光、一部行政)
- ・住んでいる人も来る人もハッピーになれる場所

### 安心・安全に過ごせるまち 都市基盤、交通アクセス、市街地の連携

《委員からの主な意見》

- ・交通の要衝、拠点(バスと自転車)
- ・駅を利用する通勤通学者の利用拠点の機能(駐輪場、バス乗降所)
- ・インフラ拠点、利便性をいかす
- ・防災拠点、避難所機能
- ・交通機能と市民機能を複合した施設
- ・安心・安全なまち
- ・安全、防犯を重点にしたエリア
- ・市街地の連携強化を利用する

### 多世代が交流できるまち 子ども～高齢者の交流、思いやり、ふれあい

《委員からの主な意見》

- ・憩いと交流のある場
- ・コミュニティ、コミュニケーション
- ・思いやりのある街づくり
- ・子供から大人まで利用できる
- ・世代間交流の場所
- ・三世代のふれあい

### ふれあいのあるあたたかなまち 少子高齢化への対応、生きがい、健康

《委員からの主な意見》

- ・若者・子育て世代の支援
- ・老人も学び、楽しみがある施設
- ・社会福祉の充実した住みよい街づくり
- ・健康、生きがい広場(高齢社会、健康寿命の延長)
- ・高齢者の見守り

### わくわくする元気なまち 地域活性化、賑わい、観光

《委員からの主な意見》

- ・市民運動の拠点(集会、催し広場)
- ・西口地域の活性化
- ・観光都市としての機能づくり
- ・観光地の玄関としての機能
- ・商業的にも文化的にも人が集えるまち
- ・昼も夜も、平日も休日も人が集う場所
- ・お金を生む場所(他市・他県からのお金の流入、民間活力の活用)

### 県地方庁舎(跡地)

- ・川越に来る人を受け入れる地下駐車場
- ・避難所となる公園、図書館など憩いの場

### 意見交換

- ・地域コミュニティや高齢者の生きがいなど、外部向けだけでなく市民向けの機能も大事だと思う。
- ・避難的な場所として広場としても残してほしい。
- ・広場は3.11のときに近隣オフィスの方がたくさん避難した。広場がなくなったらどうなるのだろうか。
- ・目指したいところは多世代が交流する場所、便利な場所。人が集まる賑わいの場所。
- ・少子高齢化時代に求められるまちとは。どんなまちを目指せばよいか、考えていく必要がある。